令和 5 年度 教育課程編成委員会 議事録 (1 回目)

実施日：令和 5 年 6 月 20 日 (火) 13:30~16:30

(理容科に対する質疑 13 時 30 分~15 時 00 分、美容科に対する質疑 15 時 00 分~16 時 30 分)

場 所：学校法人 愛知理容学園 アリアーレビューティィー専門学校 2 階 A 教室

出席者：委員 池山英一 (アリアーレビューティィー専門学校 校長)
伊藤広昭 (学校法人 菊武学園 菊華高等学校 教頭)
富田 守 (株さんぽう 名古屋支社 経営企画グループリーダー)
香村恭子 (セントラルジャパン日本語学校 校長)
高木義仁 (職業訓練法人 愛知県理容美容協会 前会長)
山口 孝 (アリアーレビューティィー専門学校 広報主任)
森山郁子 (アリアーレビューティィー専門学校 教務主任)
高橋秀典 (アリアーレビューティィー専門学校 美容科チーフ)

欠席者：委員 なし

順不同

委員会次第 (概要)

- (1) 開会
- (2) 学校長挨拶
- (3) 理容・美容業界に関するデータ紹介
- (4) 令和 4 年度自己評価の報告
- (5) その他意見交換

各評価委員から、自己点検・評価報告に対する質疑、ご意見等を頂いた。
(詳細は後記のとおり)

- (6) 閉会

終わりに、校長から令和 5 年度は第 2 回目を令和 5 年 11 月~12 月に行う予定である旨の報告。また校長より各委員へ貴重なご意見に対するお礼の挨拶。

質疑・討議及び意見交換について

職業実践専門課程の運営をする上で、それに相応しい教育に関する質疑を含め、当

校に対しての要望、意見等を頂いた。

[各評価委員からの質疑・ご意見等及び当校からの回答] (順不同)

○高木義仁 委員

学生支援のところのユマニテク校との連携はどのようなものなのでしょうか。学修成果の就職ですが、サロンの側も覚えることが多くて働く人も大変だと思います。弊社ではそのため、基本的にやりたいことをやらすという視点で働いてもらっています。

(学校側) : ユマニテク校に関しては、4つの選択授業がありそのうちのファッション分野(美容師、エステティシャン、デザイナーなどになりたい方が集まるクラス)の2年生に対し毎週水曜日に授業に出かけています。前期・後期とあり、それぞれ30名ぐらいの生徒を受け持っています。就職に関しては理容師免許・美容師免許のWライセンスの広がりもあり、就職したときに自分ができる幅を広げ、誰よりも活躍できるよう資格取得を推進しています。少しでも長く好きな理美容業で働いてほしい気持ちがあるので、あれしかできない、これしかやらないというスタンスの広報はとっておりません。

○伊藤広昭 委員

教育環境についての話がありましたが、弊社では、現在の1年生から全員にiPadを持たせ、黒板を使わない授業を展開しております。貴校のICT化はどのくらい進んでいるのでしょうか。評価説明の中で専門学校の立ち位置的な話がありましたが、弊社が中学校等に募集広報する際、進学実績として専門学校を取り上げることはありません。もちろん、本人の希望を尊重し専門学校を希望する生徒には最善のサポートをしております。貴校のパンフレットを見て気になるところがあるのですが、学費の部分でなぜ指定校推薦よりAO入試の方が金額が高いのですか？高校からするとどうかと思います。

(学校側) : ICT化に関しては通信課程の学びがオンライン上でのやり取りが今年度から本格的になるため、そのための環境整備を中心に考えております。(昼間課程ではない)先般、県立高校の校長と腹を割ってお話しする機会があり、専門学校卒業生が理美容始め、保育、看護、介護、調理師など社会生活の基盤を十分に担っているのに、すべてではないが高校側は専門学校を大学とはちがって指定校推薦の扱いを

拒否するがどうしてなのかを尋ねると、自分たちが逆に中学校にあいさつに行った時に大学進学実績がよくないと中学校の校長が会ってくれないことさえあると言われました。大学実績も偏差値の高い大学から広報する等どうしても大学そして偏差値の高いところが客観的によい進路と捉えられてしまうというのがまざまざとわかりました。弊校の学費の件ですが、来年度入学生から AO 入試の方が指定校推薦より学費が安くなります。今までは高等学校校長の推薦状を重く受け止め、経済的メリットを付け、学習意欲等模範生として期待してきましたが、入学後の姿勢が他の入試形態の学生とほとんど変わらず、逆に早期に将来像を明確にした学生ほど技術大会等積極的な面がありましたので改正を行いました。高校時代はがんばったがアリアーレに入ったら怠けたでは困るので、入学後のがんばりにこそ評価を与えたいと考えます。

○富田 守 委員

高校訪問をしていて感じるのですが、オープンキャンパスに行く校数は減っていると思います。一番多いのが 2 校、次に多いのが 1 校。何校も行って比べていない。日本語学校に関しても、入国制限の反動で来年 3 月の卒業生は多いと思いますが、再来年の 3 月はどうかと言えば未知数だと思います。オープンキャンパスで学生に委嘱状との事ですがどのようなものなのでしょうか？

(学校側)：オープンキャンパスに関しましては、コロナも 2 類→5 類になり人の動きが盛んになるかと思いましたが、他社さんも前年に比べて他校はオープンキャンパス参加者数が減っていると言っていました。私も、とある学校の先生から前年 3 割減と聞きました。なぜかなと思っていましたが、少子化に加え、現在の高校生はオープンキャンパスにあまり行っていないのですね。アリアーレは前年同月で比較し、2 月～6 月まですべて前年アップですが、気を引き締めていかないといけないなと思います。

○香村恭子 委員

日本語学習の充実をはかる上で大事な事は、日本語に対してのモチベーションを上げることだと思います。それは本人だけでなく教員側も同じだと思います。ただ日本で仕事をしたいだけでは、仕事内容は何でもよく学習意欲は湧かない。弊社でも、最近学費の分割希望ばかりで、分割希望するなら少しは貯蓄をしたらと思うのだがその意識は薄い。貯蓄の概念がない。日本人との常識が違い、私たちでも戸惑うことは多いです。留学生の入学状況は希望者増でワンフロア追加して対応して

いく予定ですが、入学定員というものがありますので、入学者が増えても総定員の枠内で学校運営をしております。評価のお話しの中で、主体性のことが出てきましたが具体的にはどのような取り組みですか、また教員研修の話がありましたけどどのように行っているのですか？

(学校側)：留学生と5月に個別面談をして、日本で働きたいという想いと日本語力を伸ばしたいという想いを感じたので、日本語能力試験の合格を目的とした対策を2学期からスタートできるよう準備していきたいと思います。主体性の考え方は、以前は全生徒がメイクならメイク、ネイルならネイルの資格を目指していましたが、中には私はいらないという学生もあり、学校として全員が同じ資格を目指すより(国家試験は全員ですが)、大学・専門学校なのでやはり自分で自分を作ってほしいという想い・考えからシンプルに欲しい資格を自分で選ぶ形にしました。教員研修は今年度学校目標に沿って行うものと思います。公開授業で新しく眉カットが始まるのですが、これは昨年度教員が習得した技術でそれが商品化できた初めての講習会です。

以上
記録：山口

令和 5 年度 教育課程編成委員会 議事録 (2 回目)

実施日：令和 5 年 12 月 12 日 (火) 13：30～16：30

(理容科に対する質疑 13 時 30 分～15 時 00 分、美容科に対する質疑 15 時 00 分～16 時 30 分)

場 所：学校法人 愛知理容学園 アリアーレビューティィー専門学校 2 階 A 教室

出席者：委員 池山英一 (アリアーレビューティィー専門学校 校長)
伊藤広昭 (学校法人 菊武学園 菊華高等学校 教頭)
富田 守 (㈱さんぽう 名古屋支社 経営企画グループリーダー)
香村恭子 (セントラルジャパン日本語学校 校長)
高木義仁 (職業訓練法人 愛知県理容美容協会 前会長)
山口 孝 (アリアーレビューティィー専門学校 広報主任)
森山郁子 (アリアーレビューティィー専門学校 教務主任)
高橋秀典 (アリアーレビューティィー専門学校 美容科チーフ)

欠席者：委員 なし

順不同

委員会次第 (概要)

- (1) 開会
- (2) 学校長挨拶
- (3) 専門学校分野別在籍者数に関するデータ紹介
- (4) 来年 3 月完成の新パンフレットの報告
- (5) その他意見交換

各評価委員から、自己点検・評価報告に対する質疑、ご意見等を頂いた。

(詳細は後記のとおり)

- (6) 閉会

終わりに、校長から令和 6 年度も同メンバーにて年 2 回会議をお願いしたい旨の発言。また校長より各委員へ貴重なご意見に対するお礼の挨拶。

質疑・討議及び意見交換について

職業実践専門課程の運営をする上で、それに相応しい教育に関する質疑を含め、当校に対しての要望、意見等を頂いた。

[各評価委員からの質疑・ご意見等及び当校からの回答] (順不同)

○高木義仁 委員

直近 10 年間の分野別学生数の報告があり美容学生は 10 年前より 1,000 人以上増えたということですが、求人を出すサロン側としては、学生数が増えたという実感はない。おそらく大手サロンに求人が流れているのではないだろうか？学生に入社してほしいが、サロン側としても本当に従業員が足りないのか、業務の見直しを含めて今一度立ち止まって求人を考えている。また自店の方針等を伝え、理解ある方が入社するという形の求人より、ウチはその子に合ったサロン展開をしている。外国語が得意な子が入社したら、外国人客層を意識したサロンを作る。おとなしい子が入社したら、静かな雰囲気サロンを作る。来た子（入社した子）に合わせた展開をするしかないと思っている。その子にあった店作り。得意分野をやらせる。技能と技術はちがって、競技会レベルの技能は大切だが、技術は得意なことを自分の力で伸ばす。いやいや技術トレーニングをやらせてもトレーニング分の給料は出せない。職業訓練校でがんばってもらっている。

(学校側)：県内全体の学生数に比例してアリアーレでも生徒数が増えている訳でもなく、新設校ができたりして、ますます競争が激化しています。理容に関しては、あまりに全体数が少なく、アリアーレだけががんばっても入学者数の大きな改善はどうかと思います。求人に関して、今一度本当に足りないのかを考えられたり、社員の特徴に合わせた店づくりというお話しには感心いたします。10月に東急ホテルで行われた美容組合 講師会 60 周年パーティーはとてもすばらしく感動しました。これからも、ますますのご発展を祈念しております。7月の県美容技術大会の参加者数が少なくなってきた感がありました。またコロナ明けでにぎやかになってくるといいです。

○伊藤広昭 委員

今年から始まった県民の日の対応ですが弊社では 11 月 27 日を休校にしました。ラーケーションについてはやっていません。進路・就職状況については、就職が減って大学が増えています。奨学金を借りる予定の方も多く、奨学金担当の先生は大変です。専門学校については変わっていませんが資格が多く取れるところを選んでいるような感じです。今後、多子世帯の大学無償化などの動きが高校からの進路先にどのような影響が出てくるのだろうかと思っています。迎え入れる立場から中学生に対し、また送り出す立場から在校生に対し、ともに目的を持って進んでい

ってほしいと思っています。電子黒板に貴校の HP が映し出されていますが、トップ画面のヘアショーの動画いいですね。パンフも会社を変えたのですか。HP はどうなのですか？

(学校側)：専門学校なので、県民の日もラーケーションもやっていませんが来年度以降やってみてもいいかもしれません。日本学生支援機構も国の少子化対策の影響がかなりあるのかなと思いますが、無償化に関しての来年度の変更点は現在理系進学者が対象のようなので、専門学校は大きな変更はないのかなと思っています。電子黒板は ICT 対策と言ってはおおげさですが、今回初めて導入をしました。HP の作成についてはさまざまな学校の HP を研究してみて、写真添付だけでなく動画を載せました。今後も色々な動画作成をして飽きの来ない HP 作成をしていきたいと思っています。

○富田 守 委員

この半年間の高校訪問等で来春の進路状況（専門学校）で感じるのは、大学と学びが重なる分野の学校は数字が下がっている。（看護等）工業系高校は就職がよく、専門学校進学は減っている。資格がない分野の専門学校は希望されない。大学も専門学校もオープンキャンパスからの歩留まりが悪く、オープンキャンパスの内容を代えるところが増えている。そこをどう上げるかに苦慮している。オープンキャンパスを見学してダメ出ししてくれという依頼もある。日本語学校の動きとしてはまだ進路未決定者が多くいる。ただ今の 1 年生は 2 年生も半分くらいで極端に今の 2 年生がコロナのリバウンドで増えているようです。

(学校側)：オープンキャンパスに関しましては、昨年度よりは増えており、それに伴い来年の新 1 年生は新 2 年生よりも多いです。留学生クラスは 4 月からオープンキャンパスの参加があり、今でも絶え間なく問い合わせが来ます。先週も今週も 8 名の入学試験を行いました。入学定員だけでなく、総定員（留学生クラス）の枠内を使って受入れを考えております。我々の体制もしっかりしていきたいと思います。

○香村恭子 委員

ネパールでは「髪型」というものを知らない人が多いようで、関心のある生徒は毎年数名います。マーケティング=ビジネスと捉え、マーケティングを学びたい留学生はコンビニでバイトすることを希望します。現在、新たな認定日本語教育機関、登録日本語教員制度の方向性が文化庁から発表されており、今後さまざまな法整

備等が令和 6 年度を中心に行われていくと思います。現在弊校の留学生も大学・専門学校の入學試験を受けていますが、とっさに出される質問には戸惑いがあるみたいです。目標を持って日本に来ていることをしっかり伝えるよう指導しています。

(学校側) : 留学生ガイダンスに行くと、ビジネスという留学生が多いですが、進學目的をどこに置いているのかわからない時があります。自動車整備の学校とかならわかりやすいですが。技能実習制度の見直しも具体化してきており、それに伴う日本語学校での動きもあるような気がします。日本語学校から進學ではなく就職を希望する方が今以上に増えるなど。当校では、就職できても日本語能力のスキルアップ、サポートがなければうまくいかないと思い、9月より貴校にお手伝いをお願いしておりますが、そのような取り組みは留学生自身にはどのように響いているのかと気になります。

以上
記録 : 山口